

大宮

THE OHMIYA HACHIMAN

令和 8 年 (2026)

皇紀 2686 年

大宮八幡祭り (秋の大祭) 号

【第 136 号】



第11回フォトコンテスト審査委員長賞『鳳凰、羽ばたく夜』高柳寛也氏撮影

退任のご挨拶

大宮八幡宮前宮司 鎌田 紀彦



(明治記念館館長と明治神宮外苑苑長を併任)から大宮八幡宮に転任することになり、「我が国の文化を地域に息づかせること」、「氏子崇敬者の皆様とともに神社及び地域の発展のために尽力すること」を務めとして歩んでまいりました。

この度、6月30日をもって、28年間奉職してまいりました大宮八幡宮宮司・大宮幼稚園園長を退任いたしました。平成10年の7月に、明治神宮の責任役員及び筆頭権宮司

により献茶式を初めて斎行いただき、皇室ゆかりの文化である七夕の節句「乞巧奠」や、重陽の節句「菊被綿飾り」を復元し、大宮天神こどもまつりも毎年欠かさず斎行いたしております。また、平成13年から秋の名月に神楽・雅楽を奉納する「十五夜の神遊び」を斎行し、境内に点る千余の竹燈籠が、皆様の心を照らす行事として定着しました。

式年大祭におきましては、御鎮座九百四十年(平成15年)、御鎮座九百五十年(平成25年)、御鎮座九百六十年(令和5年)と三度の式年大祭を氏子崇敬者の皆様とともに奉祝し、古式に

則った祭祀の厳修に努め、小笠原流による流鏑馬の奉納など、大宮八幡宮ならではの壮麗な祭礼を確立することができました。そして、平成25年は奇しくも伊勢の神宮第62回式年遷宮の年でもありました。平成27年には、神宮ご撤下の御装束神宝4点を下附賜ることとなり、神宮との強固なご神縁が結ばれ、御本殿で大切にお預かりして氏子崇敬者の皆様と共に子々孫々神宮奉賛の誠を捧げております。

また、私が明治神宮で第二回目の事務局として務めた比叡山宗教サミットには毎年参列し、世界平和への祈りを国内外の宗

教者と共有してまいりました。東日本大震災後は、「祈りの社」として復興祈願を毎年続けております。

振り返れば、私が成し得たことは決して私一人の力ではなく、氏子崇敬者の皆様、地域の皆様、そして神職・奉仕者の方々の真心のご支援によるものでございます。

この場をお借りし衷心より御礼申し上げます、これからも世界の平和と我が国の栄栄を祈り続ける所存でございます。

終わりに、皆様のご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げます、退任の挨拶とさせていただきます。

就任のご挨拶

大宮八幡宮宮司 佐波 近尚



この度、鎌田紀彦宮司の後任として、7月1日付を以て神社本庁より宮司の大任を拝命いたしました。

私は、昭和58年より当宮の親神様であられる京都の男山に鎮座しております石清水八幡宮で43年間ご奉仕いたして

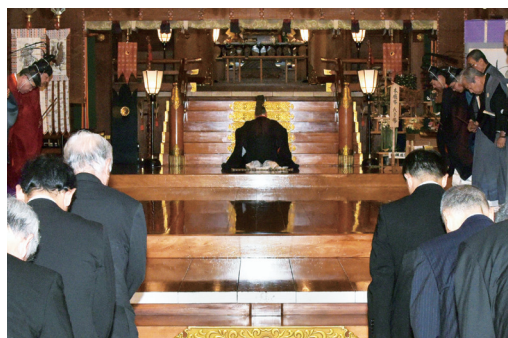
おりましたが奇しき御神縁を頂きまして4月より大宮八幡宮に奉職をさせて頂きました。ご高承の通り大宮八幡宮は、源頼義公、八幡太郎義家公が康平6年(1063年)に石清水八幡宮のご分霊を勧請してより960年以上の歴史を誇り、神域の広大さから武蔵国の三大宮の一つ「多摩の大宮」、あるいは「武蔵國八幡一之宮」と称され、徳川時代より江戸

八ヶ所八幡のひとつに数えられる由緒ある神社でございます。こうした歴史と伝統を誇る大宮八幡宮の宮司として、就任させて頂きました事は身に余る光栄に存じております。28年の永きに亘り宮司をお勤め頂きました、鎌田紀彦前宮司様が残されましたご功績に対し、改めて深甚なる敬意と、謝意を申し上げ、その志を受け継ぎ、今後も八幡大神様

のご神威を仰ぎつつ、地域の安寧と、繁栄の為、微力ではございますが、誠心誠意尽力して参りたく存じます。もとより浅学非才の身ではあります、が、慢心すること無く、誠実に、職員一同と力を合わせ、大宮八幡宮の更なる発展の為、力を尽くして参りますので、何卒、ご指導、ご鞭撻を賜りますよう謹んでお願い申し上げます。

大宮八幡祭り(秋の大祭)

真夏の暑さも和らぎ、秋の気配を感じ始める9月、恒例の**大宮八幡祭り(秋の大祭)**が15日と18日、21日の間盛大に執り行われます。



まず15日午前10時より神社本庁から献幣使の参向を仰ぎ**例祭**が斎行されます。ご本殿の御扉をお開きいたし、献饌・裏千家第6西支部による奉茶に続いて宮司の祝詞奏上、ついで全国8万の神社を包括する**神社本庁よりの幣帛**が献ぜられ、献幣使の祭詞が奏上されます。

18日には、午前10時から**神輿神霊入れ祭**を斎行し、各神輿に御祭神の御分霊をお遷しいたします。続いて午前11時からは**若宮八幡神社・白幡宮例祭**が斎行されます。19日には各神幸所のお祓いをし、宮司が巡拝をいたします。次いで夕刻6時から御本殿にて**宵宮祭**が、20日午前10時から**氏子奉幣祭**が斎行されます。祭典中には大宮・方南南・方南北・和田東・和田西・松ノ木の氏子6地区から寄せられた赤誠こもる浄財を**氏子幣**としてご神前にお供えし、氏子奉幣使(祭礼委員長)が氏子一同の感謝の真心をお伝えし、子々孫々までのご加護を願う**氏子祈願詞**を奏上、氏子崇敬者のご多幸とご繁栄を祈念します。日中には氏子各地区の神輿の社参があります。夕刻6時の**第38回神輿の合同宮入り**では、氏子地域9基の神輿が一斉に宮入りし祭は最高潮に

達します。

このほか期間中には多数の奉祝行事が行われます。20日の祭典終了後、午前12時からは佼成雅楽会による**舞楽**が、午後1時半からは小笠原流宗家による弓の神事**三三九手挟式**が執り行われ、神門内では**小原流献華展**、**第13回フォトコンテスト作品展**が開催され、清涼殿ロビーでは、9日より21日まで恒例の重陽の節句**菊被綿飾**りが展示されます。

第38回神輿合同宮入り

城西地区の盛儀とも称される**神輿合同宮入り**は、20日午後6時、江戸消防記念会第九区八番組木遣りの音頭を合図に八幡通りを発輿。大勢の参拝者で賑わう表参道を進み、次々と神門を潜って参入9基揃ったの神輿振りに本殿前は興奮の坩堝と化します。更には、当番神輿の「木」ひとつで一斉に神輿が降ろされ一瞬にして静寂が蘇る、まさに「心ひとつ」の**見事な神輿振り**は陪観される皆様に大きな感動を与えます。



大宮八幡祭り期間中の祭事

菊被綿神事	9月8日夕刻〜翌朝
例祭 奉茶(裏千家) (淡・東京第6西支部)	9月15日
神輿神霊入れ祭	9月18日
若宮八幡神社 例祭	9月18日
白幡宮	9月18日
各神幸所清祓・宮司巡拝	9月19日
宵宮祭	9月19日
氏子奉幣祭	9月20日
第38回 神輿合同宮入り	9月20日
神輿神霊返し祭	9月21日
後朝祭(直会ノ儀)	9月21日

神賑行事

弓道場振武殿神殿祭	9月13日
秋の弓道奉納射会	9月13日
奉納書画行燈	9月9日〜21日
献燈提灯	9月9日〜26日
第28回 菊被綿飾り	9月9日〜21日
大宮幼稚園園児神輿宮入り	9月15日
第46回 献華いけばな小原流展	9月18日〜20日
大宮幼稚園園児民謡踊り	9月19日
方南エイサー踊り	9月19日
杉並太鼓	9月19日
スカウトバザー	9月20日
町内神輿渡御・社参(昼間)	9月20日
野点茶会(裏千家) (淡・東京第6西支部)	9月20日
スカウト神輿宮入り	9月20日
舞楽(佼成雅楽会)	9月20日
小笠原流三三九手挟式	9月20日
高井戸囃子	9月20日
第13回フォトコンテスト作品展	9月15日〜
露店	9月19日〜21日

第26回 十五夜の神遊び

9月26日

第28回 重陽の節句 菊被綿きくのかきわた

重陽とは陽数の極みである9が重なるという意で、9月9日にこの季節に咲く菊を飾ります。菊は、古代中国では仙境に咲く花で破邪延寿の効能があると信じられ、平安時代前期の宇多天皇の御代に菊被綿として宮中行事に取り入れられました。菊被綿は重陽の前日の9月8日に、菊の花を白、赤、黄の真綿で覆って菊の香りを移し、9日早朝、朝露で湿った真綿を顔にあてて若さを保ち、菊の薬効により無病息災を願うもので、当時は贈答品としても用いられていました（紫式部日記）。
当宮では、菊被綿神事を8日夕刻に斎行し、菊被綿飾りを9月9日から21日まで清涼殿ロビーにて公開展示します。



第26回 十五夜の神遊び 月の音舞台つきのおとぶたい



旧暦8月15日（本年は9月25日）の十五夜にあわせて、9月26日に第26回十五夜の神遊びが斎行されます。この十五夜の神遊びは平成13年より催されており、夕刻にはまず竹灯籠約1300基に陪観の人々によって火が点され、仲秋祭が斎行されます。その後、神楽殿にて雅楽や神楽舞の奉奏に続いて、月の音舞台となります。演奏者は広く国内外で注目を集める尺八奏者き乃はち氏です。き乃はち氏の尺八の調べは、秋虫の音とともに、名月に照らされた鎮守の杜に響き渡り、深く閑かに心に染み入ります。



「月見の宴」のご案内

清涼殿では、「十五夜の神遊び」にちなんだ特選料理『月見御膳』をご賞味いただく「月見の宴」を月の音舞台終了後に（午後7時頃より）開催します。

名月の下での古式ゆかしい雅楽・神楽の調べや尺八の演奏の後は、十五夜の雅と幽玄の余韻の中、「月見の宴」をお楽しみいただけますようご案内申し上げます。

定員になり次第締切りとなりますので、お早めにお申し込みください。
※雨天でも「十五夜の神遊び」「月の音舞台」は行われます。

お申し込み・お問い合わせは

大宮八幡宮 清涼殿まで

03(3312)7515

【月見御膳】 ◎御神酒付

お一人様 一、二、〇〇〇円（税込）

『月の音舞台陪観指定席』含む

限定100名



写真はイメージです

献燈提灯奉納の お願い

大宮八幡祭り（秋の大祭）の期間中多くの参拝者をお迎えするにあたり、皆様方のお名前（ご社名）を入れた献燈提灯を掲出し、ご社頭を賑々しくお飾りさせていただいております。



杜の話題

わかば祭り(春の大祭)斎行

御神苑の木々が新緑に彩られた5月3日から5日にかけてわかば祭り(春の大祭)が斎行され、多くの参拝者で賑わいました。

まず、4月29日には、昭和天皇のご聖徳をおたえ申し上げる昭和祭を斎行。ついで5月1日には、躑躅育木祭並びに皐月朔旦祭が斎行されました。3日午前10時より、春の大祭第一日ノ儀こどもの祭り

(稚児健康祈願祭)と稚児行列が斎行され、21名のお稚児さんが参列しました。4日は、春の大祭第二日ノ儀を斎行。午後には、植樹祭(献木式)が当宮みどりの会主催のもと斎

行されました。本年は裏千家今日庵丹心斎千宗史若宗匠のお点前により、ご神前に濃茶と薄茶が献じられました。併せて裏千家淡交会東京第6西支部の担当



行され、祭典後には献木奉納者の方々に観葉植物のテーブルヤシが授与されました。最終日の5日は、春の大祭当日祭(尚武祭)が斎行され、皇室国家の弥栄、氏子崇敬者の安寧が祈念されました。また期間中には、佼成学園吹奏楽部奉納演奏、古武道武技奉納、杉並太鼓、野点茶会、方南エイサー、雅太鼓等の各種奉納行事が行われ、表参道では恒例の大宮八幡植木市が開催、緑を求める参拝者で賑わいを見せていました。



第26回茶道裏千家献茶式

第26回裏千家献茶式が5月9日に



丹心斎千宗史若宗匠のお点前により、ご神前に濃茶と薄茶が献じられました。併せて裏千家淡交会東京第6西支部の担当



主催による奉賛添釜茶会が朝早くから開かれ、濃茶席・薄茶席・立礼席の3席が設けられ賑わいました。大宮幼稚園では幼稚園茶席が開かれ、緊張した面持ちの園児達が、日頃の稽古の成果をお披露目しました。

神功皇后祭

6月3日、御祭神神功皇后の御陵である狭城盾列池上陵遙拝の後、神功皇后祭が宮司



以下祭員奉仕により斎行されました。神功皇后は八幡大神と讃えられる応神天皇の御母君であり、皇后が身籠もつたまま三韓を平定なされた事から応神天皇は胎

一人のお宮奉仕 境内清掃奉仕

全国各地の神社仏閣にて清掃奉仕活動を展開している一人のお宮奉仕活動が6月4日に当宮にて行われ、10名が参加しました。正式参拝の後、境内の清掃奉仕活動を行い、その後懇親会を開きました。

夏越の大祓神事・事前大祓式

水無月夏越の大祓神事が、6月30日午後4時より斎行されました。



それに先駆け多くの参拝者の密集を回避するため一般参列希望の方に25日から30日の祭典前まで事前大祓式を行いました。そこでは神職の説明により各自切麻と形代(人形)により自祓を行い、大麻によるお祓いを受けた後、茅の輪を潜り半年の穢れを祓い、残る半年を清々し

中天皇とも尊称されています。

おふたりの敬仰は聖母大神(聖母大菩薩・神功皇后)と八幡大神(八幡大菩薩・応神天皇)との母子信仰(聖母信仰)、そして子授・安産・子育ての神として当宮に古来より受け継がれ、戌の日には多くの安産祈願を受けられる参拝者で賑わいます。



く過ごせるよう祈念しました。
当日は役員総代らの参列のもと、まず宮司の先導に合わせ、祭員参列員が大祓詞を奉唱。次に切麻と

人形（形代）による自祓の儀の後、天と地が祓われ、八針神事が行われました。その後、左右左と茅の輪を3度潜り社殿へと参進し大祓修了奉告祭並に大祓詞等浄書奉納奉告祈願祭を斎行。ご神前には6月20日から28日まで神社と当宮敬神婦人会りなど会共催の大宮八幡宮水無月書写会にて浄書された122巻の大祓詞等が納められました。

第28回平安の七夕乞巧奠・ 平成の七夕大宮八幡乞巧 潜り神事

平安朝の七夕飾り乞巧奠を現代に再現した平安の七夕乞巧奠が、7月1日より15日まで清涼殿ロビーにて公開されました。七夕行事は元来7月7日の節供で、奈良時代に伝承したといわれる中国の牽牛と織女の星祭の伝説と裁縫や書道・詩歌・管絃などの上達を祈る女性の祭りである乞巧奠が、日本古来の聖なる乙女棚機つ女の信仰と



習合した行事です。当宮では平成11年天皇陛下の御即位10周年を奉祝して第1回平安の七夕乞巧奠を開催し、今年で28回目を迎えました。

7日の夕刻には社殿にて七夕の神遊び（技芸上達祈願祭）が斎行され、次いで神門前に設けられた梶の葉に七夕人形、五色の吹き流し、五色の布を垂らした平成の七夕大宮八幡乞巧奠を宮司以下神職が左右左と3度くぐる大宮八幡乞巧潜り神事を斎行しました。

その後清涼殿ロビーに進み乞巧奠を拝礼。また神門内神楽殿前には、大きな笹竹が5本設置され、参拝者の願い事が書かれた短冊によって華やかに彩られました。



草村先生 園長に就任

大宮幼稚園の鎌田紀彦園長が6月30日をもって退任したことに伴い、草村敏子副園長が7月1日に大宮幼稚園園長に就任しました。草村先生は昭和43年4月に当幼稚園に着任してより53年の長きにわたり園児の教育・保育に務めてこられました。今後とも氏子崇敬者皆様の温かいご支援とご協力をよろしくお願いいたします。



杉並税務署 新入職員奉告祭並びに 署長他就退任挨拶に来宮



7月2日、杉並税務署の新入職員7名が来宮、奉告参拝を行いました。また7月15日には新署長の大工原利二様、副署長の矢野充様が新任挨拶のため来宮、宮司と懇談しました。

中学生職場体験

6月30日～7月2日の3日間に泉南中学校の2年生男子2名が、7月7日に高南中学校の2年生女子1名

が、7月8日～10日の3日間に向陽中学校の2年生男子2名女子1名が、職場体験に来宮しました。

神職の指導により白衣袴を着装し、朝拝に参列。神社の由緒や境内の説明を受け、掃き掃除や授与所奉務、大祓詞の書写、龍笛の稽古など神社でしかできない多くの体験をしました。



第26回納涼大宮天神

いどもまっり

「杜のひびきinおおみや」・
書画行燈

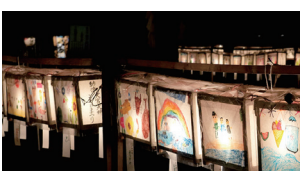


大宮八幡の夏の風物詩第26回
納涼大宮天神こどもまつりが7月24・25日の両日、行われました。

24日は午後6時より**宵宮祭**を斎行。大宮幼稚園をはじめ近隣の小中学校、一般の有志の方々より寄せられた約536点の書画、行燈369基の**献灯式**が行われ、点された行燈が参道・境

内を照らしました。25日には大宮天神祭を斎行し、大勢の子どもたちが担ぎ手となつてこどもあかりもこしが賑やかに境内を巡り、元氣な掛け声が境内に響き渡りました。

午後6時30分より第26回杜のひびきinおみや（時間をはずした日の神事）が開演。和太鼓の響道宴氏をは



多摩清水社例祭

じめとして、劔伎道かむゐ（サムライアーティスト集団）、武田朋子（篠笛・能管奏者）、阿門^{あもん}と波道^{はどう}（和太鼓チーム）による奉納演奏・演武が披露され、観の皆様を魅了しました。

8月1日、葉月朔旦祭に続いて多摩
しみずしや清水社例祭（水神祭）が斎行されま

した。俳人阿波野青畝の句碑には、「広き野に靈の清水のあるところ」と、武蔵野のと、「多摩の大宮」を想望して詠



第43回戦没者慰霊祭

まれており、今日に至るまで神聖な御神水が湧き出ています。

終戦記念日である8月15日、氏子区域より出征した英霊をお慰めする第43回戦没者慰霊祭が清涼殿特設斎場にて斎行されました。今年も全国戦没者追悼式に合わせ正午の時報を合図に黙祷、次いで慰霊祭となり当宮と兼務社の氏子の英霊329柱に感謝し、慰霊と追悼の誠が捧げられました。



責任役員・総代改選

責任役員・総代の任期満了に伴い、4月1日付で新総代として定員40名中30名（内27名重任3名新任）が選出され、同日午前10時よりの朔旦祭に併せ総代就任奉告祭の後、ご神前で宮司より委嘱状が各総代に伝達されました。任期は、令和8年4月1日より令和11年3月31日までの3年間。また同日午後4時より、改選後初めての総代会を開催。神社規則第10条により、まず責任役員を選出、次いで議長団・監査が選出されました。

大宮八幡宮 新役員・総代
(敬称略)

令和8年7月1日現在

代表役員宮司	佐波 近尚	責任役員	藤枝 宏友	内山 誠	瀬沼 宏章	玉村 恭男	鈴木 憲章	末柄 哲男	議長団	丸山 光男	古屋 進	菓梨 俊郎		
監査	瀬沼 年男	細野 修三	渡邊 明義	総代	大宮地区	古屋 進	前田 正文	五本木 勝	末柄 哲男	末柄 孝二	方南南地区	丸山 光男	齋藤 恵一	内山 誠
山崎 政義	相川 雄一	三枝 稔明	方南北地区	岩崎 太良	鈴木 憲章	細野 修三	渡邊 明義	和田東地区	佐野 晃央	玉村 恭男	和田西地区	藤枝 宏友	森川 純一	
池田 鐘司	菓梨 俊郎	春原 功典	松ノ木地区	太田 正	瀬沼 年男	瀬沼 宏章	松島 敏之	井川 邦夫	松島 穰	小川宗次郎	松島 修			
大宮八幡宮	敬神婦人会	(りんどう会)	会長 鎌田 民枝	大宮八幡宮	氏子青年会	会長 井川 邦夫	兼務神社	総代会長	堀ノ内熊野神社	渋谷 達雄	成宗白山神社	本橋 克典	尾崎熊野神社	蕪山貢一良

りんどう会



大宮八幡宮水無月書写会が6月20日から28日まで神社との共催で開催されました。本年も多くの参拝者にご参加いただき122巻の大祓詞等が浄書され、大祓神事の後御神前に奉納されました。また6月24日には大宮幼稚園の園児達とりんどう会会員によつて奉製された飾りが小笹に飾り付けられ、福笹として約400体が大祓神事（事前大祓も含む）に参列された方に授与されました。

7月2日、総会併せ研修旅行を開催しました。会長以下役員・会員27名、事務局が参加しました。早朝ご社殿にて旅行安全を祈念して出発。バス車内での総会の後、一行は江東区に鎮座する富岡八幡宮を正式参拝。宮司様よりご挨拶を頂き、日本一の大神輿と称される豪華絢爛な「御本社一の宮神輿」「御本社一の宮神輿」を拝観しました。次に江戸東京の歴史と文化、習俗を展示している東京都江戸東京博物館を見学しました。その後江戸野菜の亀戸大根を使用した亀戸升本店にて昼食。早逝した女流作家樋口一葉の生涯や文学業績が展示された一葉記念館を見学し、谷中銀座を自由散策しました。



水無月書写会

4月23日、わかば祭りを迎えるにあたり御垣内清掃奉仕が行われました。14名の役員・会員は正式参拝の後、御垣内を掃き清め、拭きあげました。秋の清掃奉仕は9月4日に行われる予定です。

清掃奉仕

氏子青年会だより

研修旅行

5月24日、第7回研修旅行が開催され井川会長以下19名、事務局が参加しました。一行は神奈川県寒川町へ向かい八方除の御神徳あらたかな相模国一宮寒川神社を正式参拝。次いで三崎館支店 香花にて海の幸を堪能。その後現存する最古の鋼鉄戦艦である記念艦三笠を見学の後、いちごよこすかポートマーケットにて買い物をして帰途に就きました。



大宮天神こどもまつりに

7月24日・25日の納涼大宮天神こどもまつりにフランクフルトやかき氷、スーパースポーツなどなどの模擬店を出店しました。夏休みを迎えた子どもたちで大変賑わいました。



戌の日詣りは

聖母大神・子育八幡さまの当宮で

安産祈願祭を！

※戌の日以外でも随時お受けしております

ご祈願の方には大宮八幡息長帯（安産腹帯）とともに、へその緒で結ばれたお母様とお子様健康にご出産の時を迎えられますようにとの願いが込められた「母子緒守」「安産御守」「安産祈願絵馬」を特別に授与しております。

大宮八幡息長帯

母子緒守

安産祈願絵馬

安産御守



戌の日の早見表

（令和8年9月～令和9年1月）

9月	10月	11月	12月	1月
9日(水)	3日(土)	8日(日)	2日(水)	7日(木)
21日(月・祝)	15日(木)	20日(金)	14日(月)	19日(火)
	27日(火)		26日(土)	31日(日)

は大安の日です

大宮八幡の杜 秋も深まり

第48回 杉並大宮菊花展

杉並大宮菊の会の主催杉並区後援による**杉並大宮菊花展**が10月24日より11月23日まで開催されます。杉並区内外在住の菊の愛好家の方々が月ごとに「菊づくり講習会」を開き、丹精込めて育てられた数々の菊の大輪が境内を彩ります。七五三シーズンには、ご家族が色鮮やかな菊とともに写真撮る光景が見られます。



神符奉戴式を斎行

令和9年の新春を迎えるにあたり、**神宮大麻頒布式並びに氏神神社神符等奉戴式**が、11月初旬に斎行されます。ご神前において大宮大麻・三宝荒神などの御神札に御霊遷しをして、神宮大麻とあわせて頒布始めの由を大神様にご奉告します。各ご家庭や会社の事務所の神棚に、神宮大麻や氏神様の新しいお札をお祀りし、清々しい1年を迎えましょう。



新嘗祭

新穀を神前にお供えし秋の収穫を感謝する**新嘗祭**が、11月23日（勤労感謝の日）に斎行されます。新嘗祭は五穀豊穡を祈る春の**祈年祭**（春の大祭）と対をなすお祭り、宮中をはじめ全国津々浦々の神社で斎行されます。当宮では大宮幼稚園の稲田で園児たちが丹精込めて植えて育てた稲穂をはじめ、氏子・崇敬者や企業からのたくさんの方々の新穀・神酒・野菜・果物などが、拝殿内中央階段の左右に庭積機代物としてご神前に奉納されます。



庭積機代物

第33回 杉並花笠祭り

12月12日、今や冬の風物詩となった**杉並花笠祭り**が、サミット株式会社と当宮の共催で、山形県などの後援を得て開催されます。

この花笠祭りでは例年、ご本殿で開催奉告祭を斎行後、御神酒の鏡開きや花笠踊りのパレードが奉納され、表参道では山形の名物芋煮や御神酒（六歌仙）が無料で振る舞われます。山形特産の農作物などの露店が立ち並び、3万人を超える参拝者で賑わいます。



令和9丁未年

12月1日より授与所にて受付開始

「新春初祈願祭」のご案内

当宮では、令和丁未の新春にあたり、皆様のご健勝・ご繁栄をお祈りする**新春初祈願祭**を1月1日午前0時より連日随時ご奉仕いたします。

また企業や団体関係の皆様には、仕事始めの祈願祭のご予約も承っております。

年の初めに、社員・ご関係の皆様お揃いでご祈願をお受けになり、八幡大神様のご神徳を戴かれ、新しい年が幸多き発展の年となりますようお祈り申し上げます。



初宮詣芳名(敬称略)

(令和8年3月21日～7月20日)

お子様のお健やかな成長をお祈りいたします

吉川達希	梅原直史	千葉陽莉	関涼菜	岳下愛幸	鶴岡希	林咲希	長久保菜乃	福原淳音	久保暖人	富宅晴太郎	矢川留衣	小林誉	世安一葉	岩瀬柊大	秦晴風	岩田悠愛	竹原凛	岩田悠愛	須川瑛介	龜井月葵	浅川結海	高木美織	山形彩乃	廣井新暖	田口颯一郎	長田澤	柴野將太郎	牛山由都	織田勇吹	石塚灯瑠	大島拓斗	日野親月	柳田景	瀬田井玲奈	田中あさ	村井大燈	小瀧董鈴	生井日織	金子紗千	渡邊聖	江森啓泰	佐々木李央	日暮藍都	原田晴々花	鎌倉暖	吉田伊織	藤田修伍							
藤田鈴子	錦戸朔叶	上原綴莉	山崎大晴	鈴木蒼惟	江原樹	鈴木晴仁	島ノ江南斗	山口二一ナ	松本愛慈	梁瀬登和	渡邊聖穂	小川礼桜	大久保風	舟橋想	渡辺柚稀	松田紡樹	日向花	堀越千鶴	石崎響	川村はんな	藤井麻里那	古木瑠莉	中澤叶緒都	杉山杏	川崎菜和	山方陽	坂本みはな	善道葵子	藤井玲風	西村花那	荒谷結然	吉岡あきら	峨家陸斗	佐藤律	佐々木弥凜	近松琴太郎	浅川寛人	安藤琉	宮本權惺	坂井希灯	新沼悟	西沢音桜	長尾結来	根本千晴	大門千朔									
藤山珀	皆川永晴	皆川大晴	河野詩歩	響庭紡叶	中塚裕衣	渡辺碧人	安田朴志	外間守道	八木朝啓	小出和	安藤諒星	藤本莉乃	三品結里	島山珠衣	山上千晴	三浦夕	日沼夕	吉井瑠	清都のぞ美	勝澤ふゆ	宮内斗環	長谷川伶旺	富田倫	山地音翔	池谷琥	大場久	芝山絆那	永田結二美	内川皓永	塩田未桜莉	椎名凜香	ベリール綾	加賀原睦来	朝倉晏莉	水上貴榮	中村綿花	黒石真礼	黒澤鞠花	加藤朔	白石彩翔	堀口えま	北浦吏泰	大島颯	濱田周佑	山口藍	古川敬将								
稲好景	根井梨光	岡田蒼生	庄司麻陽	野間田朝陽	國分ゆうき	松本悠暉	伊藤三久	宮崎利央	治山煌	中村風桜	青木律樹	坂井佑成	市野橙子	笠井千冬	川下銀慈	細山田咲南	前嶋桜来	小堤あさひ	今井空	長結菜	加藤葉	大友琴葉	飯泉紡	藤原一菜	高田在帆	菅原十波	椿山湖波	中廣結月	宇野澤陽佑	天野華	吉武和華	棚橋瑞来	工藤有真	富田翔陽	徳香樹	清水陽翔	近藤瑞優	糟谷陽向	松島依美	岡村咲利	バーバ	林瑛美	平井魁											
鈴木柊哉	中村日葉	伊藤紗良	中野結終	井藤理玖	保谷啓斗	田中祥	細谷地実莉	麻野美凛	大森耀	大居日南	鳥越大誠	田川志苑	山下楓音	秋山来翔	野原理咲	内村羽潤	葉山純斗	砂原彩葉	佐久間桜円	伊禮飛嘉	八嶋菜帆	長嶺里乃	葛木暖	船田陽斗	山田結葵	蛭田椿己	松田ひまり	金子芽生	中村昂生	船曳柚吾	伊藤色	加藤葉	飯泉紡	藤原一菜	高田在帆	菅原十波	椿山湖波	中廣結月	宇野澤陽佑	天野華	吉武和華	棚橋瑞来	工藤有真	富田翔陽	徳香樹	清水陽翔	近藤瑞優	糟谷陽向	松島依美	岡村咲利	バーバ	林瑛美	平井魁	
菅琳珈	石橋幸采	渡理葵花	杉村理光斗	松橋杏珠	関茉莉	細田美暖	加藤終花	松坂丸太郎	廣川燈弥	小町杏生	木村惟人	田中実莉	安井一穂	安井千弘	原隆夫	内山敬斗	内山山湊	内藤和奏	鈴木心都	川崎鈴来	大島斗羽	塩入虎月	向井杏	阿部結世	木村終馬	松本美凛亜	櫻田大和	高村佑里	林未央	鈴木唯乃	森田唯乃	矢尾悠翔	國島永遠	加藤匠真	植田風	重森美優	木下実	矢谷童	太田琴	鈴木響	塚本琉聖	田平すみれ	阿部茉莉	奥村智捷	山頭承太郎	中川美桜香	山口茜音	坂爪吟丞	齋藤壯馬	今井強志	小林依奈	島響生	上床緒灯	宇土深笠
金田朔燈	村田結芽	住田晴	芹澤由莉	山理生	町田有咲	北川燦	郡司瑛久	木村結風	田村琉風	菅沼花	安藤暖菜	島田七瑠	林碧生	千葉暉平	山下紺	岩田薫	加藤孝徳	鈴木優奈	相澤樹来	石川真	中野碧	谷口ひまり	木下優生	高橋望桜	松本叶都	山口美咲	酒井大雅	田中珀空	波賀綾世	杉原星楠	河口凌久	佐々木悠	向山智晴	赤池要	大塚暁司	石井善剛	志賀瑛斗	山村奏人	大山稀己	福田平菜	岩本心葵	岩下美詞	半澤祐乃	兒玉葵翔	藤井彩寧	勝岡織杜	長谷川琴	宮坂英	伊藤風	上月景虎	岩間晴	平山莉瑚		

どんぐり通信

おおきやうせん

園長 草村敏子



28年間お勤めいただいた鎌田園長先生が6月30日を以ってご勇退されました。ご勇退を聞かされたときは少々びっくりしましたが、翌日、在園の子どもたちに事の次第を話

して園庭で「感謝のセレモニー」を行いました。父母の会より大きな花束が贈呈されました。子どもたちは園長先生より教えていただいた「神前拝詞」を唱和して感謝の気持ちを伝えました。最後に園長先生を真ん中に記念写真を撮り、こどもたちの拍手による長いアーチをくぐりさらなる拍手でお見送りを致しました。玄関までお見送りしたときに60周年の記念事業で園長先生が揮毫された園名が刻



んである看板を振り返られて、懐かしそうに眺められた姿が印象的でした。園長先生長い間色々ご指導いただきありがとうございました。どうぞお元気で過ごしくださいますようお願い申し上げます。



菅田新愛 元木彩葉 神谷空 伊藤耀 平石郷 今野未結 田嶋美華 佐藤恵菜 赤羽朝灯 八下田蒼空 岸野咲太郎 鶴田奈々 松本桜彩 上杉燈梨 志村羽未 杉本耀 横山暖乃 伊藤澄佳 長谷部翔和 太田悠斗 橋本リヅム 金川聖空 柊美陽 鈴木菜乃華 多田莉彩 北村京 土方六花 黒田春樹 松野心奏 高道晴也 宮城律花 宮代雄都 吉田灯 早坂蒼翔 大竹斗碧 小林さくら 三浦明海 津野香弥 兼清祥伍 廣瀬澄花 二武東颯 荻野詩桜 山口凌次 柴田采菜 吉田榛 高橋漣 眞野馨菜 木村咲良 関口穂枝 小泉玲枝奈 星彩良 田中琉剛 岡村奏 幸松大雅 池内瑠唯 岡山華乃音 西尾明利	木村青唯 古川蒼大 増成果音 嶋山千聖 地引達真 今井幸翔 朱宮瑞菜 山植伊織 井出帆香 江口裕翔 関口晴 佐藤奈々 二宮陸 藤見悠風 藤江美月 沖田柊司 木河蒼 玉山衛 中村咲那 佐藤楓眞 江藤想和 山口朔斗 中島心彩 横幕希歩 江田彩羽 母里心汰 佐々木穂奏 敷田理瑠 山本繼依 仲間淳人 三田朝陽 奥野紗来 室明日翔 阿部柚稀 外山侑瑚 高橋優輝 山口紗弥 宇井颯一 天雨陽葵 大峰一華 赤谷奈子 弓原多桜 伊庭多新 田中陽葵 伊東詠汰 稲見菜桜 浅岡桜大 山崎風紗 石井颯玖 佐野紋音 室原志歩 酒井花 徳山澄 井上晴理奈 吉川萌々香 佐藤颯良 松木絃	保坂優光 松下七瀬 葛間天柊 河本一果 和泉狗 内山晴翔 番条哲人 倉坪里紬 平野詩季 星野新汰 高橋美月 辻谷紬麦 川端瑛菜 澤田怜苑 小川結花 藤原文治郎 鈴木律 山田燈和 小淵緋風斗 菅野暖 桑名陽詩 桑名陽世 野崎晃 藤原楓 藤原楓 武内悠介 浅田風紗 楠本遥貴 木村月春 村上暖真 阿部琴葉 大和田羽玖 森岡心々寧 青木量 井上桜 高橋勇気 古殿菜桜 塚本風咲 清水桜 清水桃江 福田雅久 能見実生 加園伊吹 鎌田燈和 谷村優日 笹口雪乃 諸岡弥千代 橋本唯路 遠山里桜 野口晴風 上川暖太 中田薫 戸松結菜 幅谷春子	三浦永葵 安達千莉 小林寛弥 新井理央 笹岡碧生 笹岡琉生 宮本杏南 宮野千颯 神咲太朗 吉田梨央 水越陽翔 盛結月 土田禮騎 七枝枝奈月 石井大雅 須藤司 新井恵 福田澄李 相田喜貴 石井律花 太田泰士朗 矢作晴之介 久保愛 島崎莉愛 高崎希世 有田登哉 丸ゆずりは 大沢風叶 藤原楓 野堀いちか 齋藤暖 本長悠生 三ノ丸紫彩 磯部陽風 白川莉香 坪井希咲 竹本樹生 茅根流惟 片野そよ 友成然 後藤陽葵 高見澤溪 落合在都 松澤岳 宇野湊斗 紙浦暖音 増田律 松川朝久 瀨尾寛太郎 菊地悠 伊藤瑞威 坂田寧音 高橋美桜 藤井怜央 森世舟 山田実怜 奥田萌菜 中川陽葵 坂田菜鴻	深澤奈紡 平山城都 永井瀬里花 鈴木理仁 鈴木啓太 立山玲 渡部織 伊達霞 高木汐莉 柿崎尋 渡邊月巴 小保方駿 都築芽以 小林楓吏 天野里吏 清水白乃 小林あかり 池田彩紗 猪俣蓮太郎 青柳百莉 菅野郁斗 高杉聖流 高橋郁里 竹澤一嘉 藤田葵羽 野堀いちか 齋藤暖 本長悠生 三ノ丸紫彩 磯部陽風 白川莉香 坪井希咲 竹本樹生 茅根流惟 片野そよ 友成然 後藤陽葵 高見澤溪 落合在都 松澤岳 宇野湊斗 紙浦暖音 増田律 松川朝久 瀨尾寛太郎 菊地悠 伊藤瑞威 坂田寧音 高橋美桜 藤井怜央 森世舟 山田実怜 奥田萌菜 中川陽葵 坂田菜鴻	相川奈穂 杉本宇渚 千葉陽菜実 西田晴彦 氏井想大 吉名諒音 渡邊仁瑚 栗永桃李 木村謙臣 山田樹吹 小林嘉一 井莉碧生 山田碧人 松下瑠依 高橋実 富岡風翔 関根千桜 篠木乃華 大澤來歩 國分榮斗 吉田侑生 木村颯天 吉田佑介 濱岸伶奈 若山佳歩 浅野悠生 石岐未來 石成永乃 宮谷一歌 伊藤澄春 吉田凌大 須江湊斗 萩原環 萩江那心 阿部深夏 井上權 植木璃渡 濱頭曜 久米雫月 田中菜晴 中中菜晴 桜沢結大 土方咲月 岩佐成成 脇田明季 甲斐田希采 森外風翔 伊藤大翔 池田ひより 関野泳 鈴木杏菜 滝川想來 黒羽律希 伊藤雫稀 野口暖日
---	--	---	--	--	--

七五三風景



吉田凌久 榎本晴 駒田波琉 杉原聖彩 稲吉要織 雨宮葵 竹内乃蒼 松本怜枝 千葉樹睦久 千葉日和斗 石川楓花 金子修人 高橋青 市瀬宗亮 才元時陽 西村類 大岡橙和 中澤凜 堤一花 岡田菜 高柳陸斗 天辰虹晴 荒井結佳 荒川大和 小川七楓 兼松薫央 日比野紡希 小島芽育 高野千景 木邑朔 細川瑠七 森田基	田井中風人 伊藤悠岐 白根晴彩 高橋悠帆 佐藤想介 倉地澄佳 小松田蒼真 伊藤万都花 藤田意志 信時珠華 黒木柚光 石井蒼大 岩橋香澄 荒瀬陽菜鈴 小林梓紗 佐々木重 大嶋彩春 池田風希 本田夢人 尾崎日葵 奥井義昭 三谷結世 日野岡花歩 伊藤英心 岡野真澄 渡邊アレンゾウ尊 神戶咲嬉 山城咲菜 櫻井七奏 楠原理功 池谷悠人 池谷玲七 青木律	菅野伶 知念創太郎 溝口恭大 中野透瑚 大岡蒼依 小村綺歩 上村紬 近藤景 木内晴斗 武井柊 原彩桜 中木朱莉 竹村斗希 山本誠七 金子青生 森島漣 高橋心春 正木吟 石塚叶彩 青山叶 山川真弘 嶋田羽菜 川口朱里 山口楓雅 藤井春瑠 大久保結葉 高垣湊音 岩尾あん 伊藤文慈 篠崎海斗 佐藤蒼太 鈴木美珠樹
--	--	---

祝七五三詣

七五三年齢表

七歳 女児 令和 2 年生
五歳 男児 令和 4 年生
三歳 男・女児 令和 6 年生

※生まれ年と年齢は数え年によるものです。
満年齢でお受けいただいても差し支えございません。

七五三レンタルプランご予約

ご予約：毎日朝 10 時～夕方 5 時まで

お子さま自身が、ひとつ成長した誇らしい姿をご家族皆様で見届けられる素晴らしい一日にしてあげて頂きたいと思っております。
当宮清涼殿ではお子様、ご家族の衣装・着付・美容等全て予約が出来、当日は熟練のスタッフが皆様の大切な記念日となりますよう、お手伝いさせていただきますので、是非ともご連絡をお待ちいたしております。

結婚式挙式者芳名(敬称略)

今熊 卓也・里奈
酒井 壮一郎・デクピスカルメン
橋本 憲人・莉子

(令和8年4月1日～8月31日)

秋の大祭後の主な祭典行事

10月24日	第48回 杉並大宮菊花展
11月上旬	神宮大麻頒布式並びに氏神神社神符等奉戴式
11月15日	月次祭並びに七五三祝祭
11月23日	新嘗祭
12月12日	第33回 杉並花笠祭り
12月下旬	事前大祓式
12月31日	大祓(年越大祓)
令和9年	除夜祭
1月1日	歳旦祭
1月2日	小笠原流墓目の儀・大的式
1月3日	元始祭
1月15日	古神矢・古神札等焼納祭(どんど焼)

大宮八幡祭り(秋の大祭)

9月15日
18日～21日

例祭 [15日 午前10時]

氏子奉幣祭 [20日 午前10時]



献幣使祭詞奏上



浦安舞奉奏



氏子幣の供進

第38回 神輿合同宮入り [20日 午後6時発輿]



神輿が商店街を進む



江戸消防記念会の木遣りで参入



9基が揃って社殿前に宮入り

大宮八幡祭り(秋の大祭) 奉納神賑行事

氏子町会神幸所

大宮地区

大宮宮元會神幸所

方南地区(南・北)

峰睦会神幸所

方南新栄若睦会神幸所

泉南睦神幸所

方南西神幸所

方南東神幸所

和田地区(東・西)

和田睦会神幸所

和田敬神会神幸所

和田仲組神幸所

和田南神幸所

和田東神幸所

松ノ木地区

松ノ木町会神幸所



園児民謡踊り [19日]



方南エイサー [19日]



杉並太鼓 [19日]



倭成雅楽会舞楽奉納 [20日]



小笠原三三九手挟式 [20日]



高井戸囃子 [20日]

大 宮 第136号
大宮八幡祭り(秋の大祭)号
令和8年9月1日発行

大宮八幡宮社務所

〒168-8570

東京都杉並区大宮2-3-1

電話 (3311)0105 FAX (3318)6100

Mail: info@ohmiya-hachimangu.or.jp